

## 目黒区の男女平等参画の現状

目黒区の基本理念である人権と平和の尊重は、その実現へ向けて男女が平等に参画する社会づくりの推進を施策の基本方針としており、「男女が平等に共同参画する社会づくり条例」が2002年、23区内でいち早く制定されました。目黒区は、議員の約41%が女性で、他区と比べて高い割合ですが、職員(管理職)はというと約14%と低くなっています。これは、女性が家事育児を担わなくてはならないことで管理職への道を諦めているという背景があるとも考えられます。また男性職員の育休取得率も4%と、低い数値となっています。まずは行政から意識を変えて実践していくないと、男女平等参画の取り組みも進まないので、と思います。

中目黒スクエア内にある、男女平等参画センターをご存知でしょうか。男女平等参画を推進すべく設けられている施設で、大小会議室、保育室、子連れでも過ごせる資料閲覧室があります。登録団体は現在、24あり、会

議室の稼働率は約50%です。(2017年度実績)

実はセンターを開設して26年も経つのに、区民にはまだ存在 자체を知らないのが現状です。5年前の見直し案で指摘されているにも拘わらず、啓発活動について、なされているという実感が全然ありません。大切な施設ですから、地理的に遠い西部や南部地区にも、もっと出向き、PR活動をしていくべきです。

そうすることで、男女平等参画という意識を区民に根付かせ、私たちの権利を保障してくれる貴重な制度を守ることへも繋がるのではないかでしょうか。(Y)



## せっけんを使おう! 7月はシャボン玉月間

せっけん運動ネットワーク(旧協石連)はシャボン玉月間の活動の一つとして、せっけん運動を自治体へアピールする活動に毎年取り組んでいます。せっけん運動とは、「ひとりでも多くの人がせっけんを通して水環境に関心を持ち、自らが地球環境に責任を持つひとりの市民であると考える場を増やす活動」です。その取り組みの一つとして今年も目黒区長に面会し、「首長メッセージ取得活動」への協力をお願いすると共に、区内の学校や各施設にお



目黒区長からは目黒川の水環境を守るために天ぷら油を回収し、リサイクル石けんに活用するなどの取り組みを推進していることの紹介があり、水環境を守る大切さについて「せっけん運動」へエールをいただきました。

いての「せっけん」の継続利用をお願いし、また日頃気になっていることをお伝えしてきました。

合成洗剤に使われる香料などがもたらす「香害」のことや、区報を利用しての「せっけん」の啓発など、教育の一環として「せっけん」が環境に負荷が少ないということを広めていかなど意見交換しました。

また目黒区では、目黒川の悪臭がたびたび問題となってしまう話を聞きし、周辺住民の方々をはじめ、私たちひとりひとりが、水を汚さない工夫をすること、その一つとして「せっけん」を選択していくことが、過ごしやすい住環境を守るために必要な事だと感じました。

目黒・生活者ネットワーク 政策委員 渡辺夏子

## イノフォメーション information

お申し込み・お問い合わせ：目黒ネット 広吉敦子事務所まで  
TEL/FAX: 03-3791-8069 E-mail: meguronet@m2.dion.ne.jp

### いま知っておきたい!憲法のこと シリーズ③ 一著者に会いたい 著者に聞きたい

『わたしは 日本国憲法です。』著者 鈴木篤 弁護士と語ろう  
世界に誇れる「日本国憲法」VS「自民党改正案」をテーマに、憲法問題への関心を市民に広げる活動を長年続けてこられた弁護士の、鈴木篤さんをお迎えします。

- ❖ 日 時: 9月8日(土) 14:00~16:00
- ❖ 場 所: Luz(ラズ)大森 4F 大集会室
- ❖ ゲスト: 鈴木篤さん(弁護士)
- ❖ 参加費: 500円
- ❖ 主催: いま知っておきたい!憲法のこと☆  
市民集会実行委員会

## 2019年目黒区議会議員選挙候補予定者が決まりました。

6月23日(土) 目黒・生活者ネットワークの臨時総会で、来年の春行われる予定の区議会議員選挙に向けて、渡辺夏子の擁立を決定しました。

私たちの声を区政に届けるために活動をしていきます。

### 【活動紹介】

学生時代から演劇・手話を始める。現在も継続中。  
生協のまちづくり委員として子育て支援企画に携わる。  
松葉のダイオキシン調査活動などの環境保全運動にも取り組む。



渡辺 夏子

## 目黒・生活者ネットワークの活動報告をします

【編集後記】東京都では都立高校・公立小・中学校のブロック塀の点検作業が行われています。目黒区ではブロック塀から生垣などに改造したり、新設したときは造成費の一部の助成も行っています。緑を増やすことで、景観もよくなり、安心安全なまちにつながるので、生垣が増えることを期待しています。